

ある日の朝…

ふえっ？

えっ…？
な…何で…
おちんちんが…!?

ぎゅ…
ぎゅ…ぎゅ…





発情期で妖力が溜まってんのよ

とりあえず今日は抜いてあげるけど明日からは自分でやりなさい

何これ？何これ？
おちんぽ気持ち
良すぎりゅうう♡

あっ♡

あ

♡

ニムニム

ニムニム

こっ…こらっ…
手だけって
言っただしょっ

すみません
どうにもまだ
治まらない
みたいで…

クククク

命令よっ…
手を放し
なさいっ…

私は
藍様の式なので
紫様の命令は
効きませんよ？



紫様が
素直に言うこと
聞いてくれて
嬉しいです♡

このことは
二人だけの秘密に
しましょうね♡

あゝ

ん

ん

はっ

ほーら♡
紫様の膣内に
私のおちんぼ
挿入ってますよ♡

今から
いっぱい犯して
私のおちんぼの形
膣に覚えさせて
あげますからね♡

こ…この子の
ちんぼデカくて
奥まで挿入って
くる…♡

こ…
こんなので
突かれたら…



溜まっていたの
ぜんぶ膣内に
射精しちゃい
ました♡

続きは
また明日しま
しょうね♡

はー
はー

セッ♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



朝になると
勃ってくるなんて
まったく不便な体
ですねえ

ほら…
早くしないと
おしっこも
飲ませますよ？





わあ…♡
すっごく
似合ってますよ♡

今日は
藍様もないし
いっぱい交尾
しましょうね♡



ちゃん
と
メス
猫に
なれ
るよ
う
教
育が
必
要
み
たい
です
ね

こ
ら
こ
ら
猫
は
そ
ん
な
下
品
な
鳴
き
方
し
ま
せ
ん
よ



ほらほら♡
もっといい声で
鳴かないと
お尻壊れちゃい
ますよ♡

やればできるじゃないですか紫様♡

あんまりいい声で
鳴くもんだから
つい本気で犯し
ちゃいましたよ♡



ど…どうやら
今晚はもう来ない
みたいね…

寝たの
かしら…？

い…今のうちに
藍に頼んで
何とかして
もらわないと…



あれー...?
どーして紫様が
この部屋に
来るんですかー?

おかしい
ですねえー?

コレを舐けてから
話聞かせてもらい
ますから
そこで待ってて
くださいねー

おは

おは

おは

藍様はとつくの前に
式の契約を解除して
私の式にしてあげたん
ですよ

紫様は言いつけを
守れない悪い子なので
さらにその下の
最下級の式として
契約してあげます

ほら
感謝は？

あ…
ありがとう
…♡
ごさいまひゅっ





二人とも
私の式になった
記念に手描きの
淫紋を彫って
あげました♡

これから
家族3人
仲良くしま
しょうね♡

ちん
しき
1号

ちん
しき
2号